



い き い き

小 富 士 っ 子



R 4 学校便り No. 31

令和 5. 3. 2 4

四国中央市立

小富士小学校



一年間、お世話になりました

新型コロナウイルス感染症が収まりきらない中で、感染対策を行いながらの一年間となりましたが、保護者の皆様には、たくさん助けていただき、ご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。

子どもたちのためにと無理を申し上げたことも多々ありましたが、子どもたちのためならばと、温かく見守って下さいました。ありがとうございました。今後とも小富士っ子のためによりしくお願いいたします。

ご卒業おめでとうございます

卒業式も無事終えることができました。全在校生、保護者、来賓の方々が参加しての卒業式は4年ぶりとなります。With コロナの中で日常を取り戻しつつあるのかなと思います。

さて、卒業式の式辞では、ヤクルトスワローズの村上宗隆選手が座右の銘にしている「臥薪嘗胆」と女優の有村架純さんが中学校の卒業式の時に校長先生からいただいた「ありがとうの数だけ人は優しくなれる、ごめんの数だけ人は賢くなれる、さようならの数だけ人は愛を知る」という二つの言葉を子どもたちに紹介しました。夢に向かってしんどいことにも耐え、チャレンジすること、人に感謝すること、過ちを素直に認めること、そして、多くの出会いを通して、多くのことを学ぶことの大切さを子どもたちに伝えました。中学校で、そしてこれからの人生を豊かに、たくましく生き抜いてほしいと思います。



大谷翔平選手に学ぶ

大リーグ屈指のホームランバッターである大谷選手が、先日のWBC準決勝のイタリア戦で、1アウト1塁から初球をバント。大谷シフトで野手がいなかった三塁側をねらい、成功させ、それが日本の得点につながりました。見に来ていたお客さんたちも大谷選手のホームランをきっと期待していたでしょう。その中で、1点を確実に取るために大谷選手が選んだのがバントという作戦でした。

「ゲッターが一番最悪のシナリオ。リスクを回避しながら、なおかつハイリターンを望めるチョイスをした。あの場面は、ヒッティングするプライドはなかった。日本代表の勝利より優先する自分のプライドはなかった」と試合後のインタビューで答えました。

ホームランバッターとしてのプライドではなく、チームとして勝つためのプライドを選びました。「自分さえよければ」という考えではなく、今、チームにとって大切なことは何なのかをしっかりと考えたプレーを大谷選手は選んだのです。

学校として、クラスとして、仲間として、自分は今、何をすべきなのかをしっかりと考えた行動、働きをしたいものだなと思いました。